

# 一 上棟式祝詞

これの神籠に招ぎ奉り令坐奉る 掛巻も畏き親神天理王  
命の御前に慎しみ敬い恐み恐みも白さく

親神の広き厚き御恵みを嬉しび奉り辱けなみ奉りて 天理  
教 分教会はも既設の境内建物は平屋建でありし

かも狭く且つ老朽化せし為 これより後の教会内容の充実  
を期し地下に駐車場を設け 地上に木造亜鉛メッキ鋼板  
板葺式階建なる 神殿兼教職舎を境内地一杯に新たに設  
け奉らむと一同心を一つにして御願に及びしが 去る

月 日 鮮やかに御本部より理の御許しを戴き 引続き  
月 日 明るく厳かに地鎮祭並に起工式を執り  
行いたり

その後の工程は渉外的な事情によりやや延びしが工事  
関係者一人ひとりの並々ならぬ努力のお陰で漸く棟木取り  
上げむばかりに成りたるを以て 今日を生日の足日と上棟  
の儀式執り行わむと御前に御酒御食海川山野の種々の味物  
を置き高成して捧げ奉らくを甘らに安らかに聞食し諾ひ給  
いて 道の子達が諸手に取る綱根の只一筋に曳き上げ奉る  
棟木の緩みなくやがて取付けむ桁梁の損い動く事無く守り  
幸え給い 豫め定めたる設計のまにく平けく安けく竣功  
えしめ給い 併せて形のふしんに伴い 心のふしんの成果も  
ひときわ高く大きく拳げしめ給い ひいては思召下さる  
世界一列兄弟姉妹の陽氣ふしんに正しくつながらしめ給いと  
一同と共に恐み恐みも乞い祈み奉らくと白す